

(言葉での思考の深め方)		幼小中一貫教育における「言語力の育成」をめざした授業づくりのために			
内容/発達段階	幼稚園	小学校(低学年)	小学校(中学年)	小学校(高学年)	中学校
めざす子どもの姿 (主体は子ども)	○自分の思いを出して友だちとかかわって遊ぶ	○体験の中で様々な言葉を知っている	○自分で使える言葉をもっている	○意図・目的にそった説明する言葉を持っている	○各教科の専門用語を理解し、課題を発見し、自ら課題を解決していく言葉を持っている
具体的な 子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な言葉がわかる 絵本や物語などに親しみ、先生や友だちと心を通わせる 	<ul style="list-style-type: none"> 教科学習の中で必要な言葉が理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや思いを言葉にすることができる 教科特有の言葉について理解することができる 事象に対する考えについて教科の言葉を使って説明することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 双方向のやり取りを行なうための言葉を持っている 教科特有の用語について理解することができる 事象に対する考えについて教科の言葉を使って説明することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 議論して、問題解決するための言葉を持っている 各教科の専門用語について理解することができる 論理的に分析・評価する言葉を持っている
大切にしていくこと (主体は指導者)	*一人ひとりの子どもの思いをじっくりと聞く	*豊かな言葉に触れさせ、正しい言葉よい言葉を見つけさせるようにする	*言葉を意識して使えるように指導する *気持ちが変わるように書かせる	*わからない言葉をそのままにしないように指導する	*各教科の専門用語や単語を理解させ、学力の土台として定着させる
幼小中の実践例 (具体的取組)	<ul style="list-style-type: none"> 教師の話や物語の読み聞かせ 絵本や物語の読み聞かせ 集団遊びをする中で、ルールを話し合う 描いたり、制作をする 歌を歌ったり、合奏を経験する 楽器の名前を覚える 	<ul style="list-style-type: none"> 読書 音読 暗唱 視写 聴写 観察カード 絵本の読み聞かせ 言葉集めゲーム 豊かな言葉を取り上げ、評価 感情表現する言葉 教科の用語や定義を知る 既習事項や用語をいつも目に触れるように掲示しておく 用語や既習事項を何度も繰り返し、指導する 聞き名人のルールを意識させる 感想の言葉カード 手遊び しりとり ふわふわことば 気持ちカードの使用 伝言ゲーム 「はじめ」「中」「終わり」の構成を意識 イメージマップの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 読書 音読 暗唱(話す・聞くスキルを使って) 「言葉のポケットノート」を作り、国語に限らず読書や他教科で出てきた言葉の意味を調べて記録していく ゲーム要素を取り入れて辞書引きに慣れる 国語の各単元の学習計画に「意味調べ」を入れ、語彙を増やしていく 「はじめ」「中」「終わり」の構成を意識して、文章(物語文、説明文、感想文)が書けるようなワークシートを作成する 漢字やローマ字の反復練習をする 音読を通して言葉の発音、言い回しに慣れる 音読名人のルールを意識させる 朗読を通して言葉を音で覚える 教科の用語や定義を知る 算数、理科で、用語を用いて記述することを意識させる 既習事項や用語をいつも目に触れるように掲示しておく 用語や既習事項を何度も繰り返し、指導する 聞き名人のルールを意識させる 自分だけの国語辞典を作る 音読対決 音読発表会 国語辞典(赤線・ふせん)の活用 ことわざ、故事成語ブックを作り語彙力を増やす 詩の指導を通して擬態語、擬声語を考える 読書「5000ページの旅」を設定し読書を進める 	<ul style="list-style-type: none"> 読書 音読 暗唱 「言葉ファイル」の活用 短文づくり 音読(音読対決) 暗唱 辞書活用 (国・社では、特に使用→授業時、机に置いておき、即活用) 「言葉の宝箱」を活用し、言葉の意味や表現技法を学ぶ 教科の用語や定義を知る 既習事項や用語をいつも目に触れるように掲示しておく 用語や既習事項を何度も繰り返し、指導する 聞き名人のルールを意識させる 日記指導 言葉の言い換え 短歌・俳句づくり 俳句や物語文の暗唱、朗読 辞書引きの宿題を定期的に出す 	<ul style="list-style-type: none"> 【国語】 辞書・便覧・読書・新聞・音読・コミュニケーション 自分が知らない言葉に積極的に触れる 文章全体を対象とした課題を工夫する表現や構造にもこだわる 評価したり、批評したりしながら読む「しかけ」に工夫しながら、読みを深める 文章全体の表現や構造に注目する 評価したり、批評したりしながら思考し、読みを深める 「書くこと」によってまとめたり、発信したりする学習スタイルを常態化する 【社会】 社会的事項の語句を学習する グラフや写真などの資料から読みとれることをまとめる 【数学】 用語の意味の確認を数多く行う 多様なテキスト(式・表・図・グラフなど)で問題を提示する 系統立てた反復により基礎・基本の定着を図る 記述を求めず、口頭で説明させる 【理科】 教科書やワークシートの音読をしっかりとさせる なぜそうなるのかという問いかけを大切にしている 理科的な言葉で説明させる 大切な用語等はクラス全員で発音する 体験活動の充実；観察・実験や様々なコンテンツから自然現象についての情報を発信する機会を充実する 【音楽】 自ら感じたことや自分なりに解釈したことを言葉に表す 音楽を形づくっている要素や構造を理解する 【美術】 色・構造・色彩；言葉に置き換えて伝えあう 【技術・家庭】 自分の考えや感想を書き、グループで発表し合い、交流する 技術科；実践的・体験的な学習活動により、実感を伴って言葉の意味を理解して習得させる 家庭科；体験と言葉をつなぐ、体験し言葉の意味を理解する体験したことを言葉で振り返る 【保健体育】 作戦会議等コミュニケーションを増やす 各種目の専門用語を覚える 技術、戦略、ルールなどへの理解 健康・安全に対する理解と配慮 動や直感、経験に基づく知恵の獲得 【英語】 授業で習った表現を繰り返し練習し、小テストなどで定着を図り、語彙力を高める 4技能をバランスよく取り入れる(ルーティンワークとも関連づける) ペア、グループワークを通し、コミュニケーション能力を育成する
期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> 教師や友だちと一緒に行動したり、やりとりをしたりすることを通して、次第に日常生活に必要な言葉がわかるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中、発表するときの言葉のバリエーションが増えてきている 	<ul style="list-style-type: none"> 「言葉のポケットノート」の自分の調べた言葉の意味を繰り返し見て言葉の意味を知る機会が増えた 毎日の音読学習で物語文を暗唱できる児童も増えてきた 行事ごとの作文に、自分の気持ちが伝わるように書くことができるようになってきた 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい言葉を知る、手にすることに対する意欲向上がみられる 分からない言葉がなくなることで、文章内容の理解がしやすくなった 	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶ喜びを体験することによる生涯にわたって学んでいこうとする態度を育成する